

# 東芝メディカル システムズ(株) 本社・那須事業所



所在地：栃木県大田原市下石上1385番地  
 建築面積：工場棟34,471㎡ 食堂棟1,850㎡  
 延床面積：工場棟60,361㎡ 食堂棟1,745㎡  
 施主：東芝メディカルシステムズ(株)  
 施工：東芝プラントシステム(株)  
 完成：工場棟平成25年6月 食堂棟平成23年10月

S255

世界的な医用機器メーカーである東芝メディカルシステムズ(株)が、グループ環境方針などにしたがって環境負荷の低減を推進。そのひとつの施策として、本社・那須事業所の既設照明器具を段階的にLED照明器具へとリニューアルしています。

## “地球環境に配慮した環境調和型の医療機器・システム”の生産拠点

自然豊かな栃木県北部、大田原に本社を構える東芝メディカルシステムズ(株)は、最先端の医療を支える様々な機器・システムを開発・製造し、人々の健康と尊い命を守る医療の発展に貢献している世界有数の医用機器メーカーであり、東芝グループのヘルスケア事業部門で中核をなしている企業です。

現在、東芝グループ「環境ビジョン2050」の実現に向け、那須事業所でも省エネ推進プロジェクト活動が行われ、その一環として2013年6月に工場棟主要建屋の照明器具をLED化しました。

## 工場棟5,567灯、食堂棟530灯、計6,000灯を超えるLED照明を採用

工場棟の照明更新では、生産ラインの特性に合わせて、器具や高さが決められました。CTシステム製造ラインに採用されたのは一体形LEDベースライトスリムタイプ。列間隔が狭められ低い位置に設置されたことにより十分な照度が確保されています。超音波診断システム製造ラインでは、110W蛍光灯器具2灯用から1灯用相当のLEDベースライトに更新。細密作業の妨げとなる光の影をなくせるよう、器具位置を横方向に移動できる滑車レールが設けられています。一体形LEDベースライト薄形タイプが採用されたX線システム製造ラインは、7mの天井高さにもかかわらず明るい照明環境が創出されています。400Wメタルハライドランプ器具が設けられていた大型加工ラインは、LED高天井器具にリブレース。グレアがなく平均照度が約1.3倍にアップしました。省エネ効果は高天井器具を除いて年間114万kWh、高天井器具だけで年間16万kWhの削減が見込まれています。

第3食堂“こもれび”は、「那須の自然に調和を」をコンセプトとしたオール電化・オールLEDの省エネ配慮型新棟です。食堂フロアはテーマ別に3つのゾーンに分けられ、LEDベースライトスクエア器具や一体形LEDダウンライトなど、省エネ・省メンテ、長寿命の各種LED照明器具により、それぞれに雰囲気異なる意匠性の高い照明環境がつけられています。



CTシステム製造ラインの照明 既設の110W蛍光灯器具から一体形LEDベースライトスリムタイプに更新し2,450mmの高さに設置(通路は2,800mm)



超音波診断装置ラインの一体形LEDベースライトスリムタイプによる照明

LED高天井器具を8mの高さに150灯設置した大型加工ライン



LEDベースライトスクエア器具を採用した食堂カウンター

一体形LEDベースライトスクエア器具を採用した第3食堂“こもれび”アクティブゾーン



“こもれび”リラックスゾーンの照明 電球色のLEDダウンライトを多用

### 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
工場棟	一体形LEDベースライトスリムタイプ	LEDT-33241N-LDJ(P付)	469	LED 消費電力:32W
		LEDT-67281N-LDJ(P付)	2,536	LED 消費電力:59W
	一体形LEDベースライト薄形タイプ	LEDT-99181N-LDJ(P付)	1,205	LED 消費電力:117W
		LEDT-50131N-LDJ(P付)	944	LED 消費電力:46W
食堂棟	LED高天井器具	LEDJ-20022N-DJ2	150	LED 消費電力:202W
	一体形LEDベースライトスクエア器具埋込形	LEDR-32401NW-LD9	60	LED 消費電力:38W
	一体形LEDダウンライト	LEDD-20007FL-LD9	88	LED 消費電力:27W
	一体形LEDダウンライト	LEDD-20003MW-LS9	65	LED 消費電力:27W